

第 8 6 回幹事会議事要旨

日 時 平成 2 1 年 1 2 月 2 4 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会 長) 金澤 一郎

(副会長) 大垣眞一郎、鈴村興太郎、唐木 英明

(第一部) 広渡 清吾、木村 茂光、山本 眞鳥

(第二部) 浅島 誠、北島 政樹、山本 正幸、鷲谷いづみ

(第三部) 後藤 俊夫、池田 駿介、海部 宣男

(事務局長) 竹林 義久

(課長等) 井上 卓、市川 高義、廣田 英樹、古西 真、原嶋 耐治、

影山 洋一

審議事項等

1 非公開審議事項について審議が行われた。

(1) 国際委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定が承認された。

(2) 分野別委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定等が承認された。

(3) 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会設置要綱の一部改正及び特任連携会員の任期の延長が承認された。

(4) IAP 声明「経済危機への対応(仮題)」に会長が署名することについて承認された。

(5) 外部委員候補者の推薦について承認された。

(6) その他事項として次のことについて話し合われた。

・鈴村副会長から日本学術会議ミニ・シンポジウムの構想についての説明があった。

・来年 4 月の総会では、外部有識者を招いての講演は行わず、日本の展望について、しっかりと審議・報告を行うこととされた。

・唐木副会長から IAP 声明「熱帯雨林と気候変動」の経緯について報告があった。

2 前回議事要旨の確認が行われた。

3 諸報告事項として、金澤会長から 1 2 月 7 日に「我が国の大学が目指すべき将来像についての会長談話」を発出した旨の報告があった。

4 審議事項について、審議が行われた。

(1) 報告「『リスク社会』下の自由と規制 - 撤退は国家の宿命か - 」について、法学委員会「リスク社会と法」分科会の長谷部恭男分科会委員長から説明があり、審議の結果、所要の修文を行うことを条件に承認された。

(2) 日本学術会議協力学術研究団体の指定について承認された。

(3) 第 19 回国際科学会議科学計画評価委員会 (19th Meeting of the ICSU Committee on Scientific Planning and Review (CSPR)) 出席に係る会員の派遣について承認された。

(4) シンポジウム等の主催、国内会議及び国際会議の後援について承認された。

5 その他事項として次のことについて話し合われた。

- (1) かがわけん科学体験フェスティバルの報告があり、今後、日本学術会議が関与する地方で行うイベント等については、地区会議が関与する必要があるとの指摘がなされ、科学と社会委員会で検討することとなった。
- (2) IAMPの総会について金澤会長から説明があり、今後の対応については、金澤会長及び北島第二部副部長に一任することとなった。